

「学校の誇りになれる学年になる」「九小の誇りを伸ばす努力をする」「連合音楽会で誇りや思いやりを表現したい」「九小のいいところは、元気なところ」…頼もしい言葉です。みんなが思いをもって、九小の誇りを育てていきたいですね。

<朝会で話した主な内容> テーマ:「九小で誇りに思うこと」

10月は、立川市の3つの中学校で創立70周年、40周年を祝う式典がありました。どの学校の生徒もとても立派でしたが、ある学校の生徒は挨拶と合唱、別の学校の生徒は、校歌を大切にしていると話していました。

受付をすると、一人ずつ生徒が控室まで案内してくれるのです。明るい笑顔とはきはきした声で「ご案内します」と話しかけられたとき、とてもすがすがしい気持ちになりました。初めて行った学校ですが、その学校が相手への思いやりや礼儀を大切にしている様子が伝わってきました。

次に驚いたのはお辞儀です。式の最中には、丁寧でゆっくりとしたお辞儀がそろい、どの生徒も心を込めて参加している様子が分かりました。

そして、男子生徒と女子生徒の澄んだ歌声がとても素晴らしかったです。子供と大人の声は違いますが、その年齢に特有の素敵な歌声をみんなもっています。声と心を合わせると、人の心を打つ合唱になるのだと感動しました。

九小は、11月27日に145回目の開校記念日を迎えます。皆さんが誇りに思うことはどんなことでしょうか。挨拶、和太鼓、夢ファーム、もっとあるかもしれません。卒業生が、夢ファームについてこんなことを記念誌に書いていました。その野菜を食べるだけで元気になる。そして、この地球に私が一つのいのちを育てたと思うと嬉しい。頑張った分だけ、スイカがおいしくなったと思う。

九小の卒業生たちが築いてきた素晴らしい伝統をこれからもみんなでも育てていきましょう。

- 1 今日のお話は、心を込めることと伝統を受け継ぐことについてでした。心を込めれば、相手に <感想>
心が込められていると分かり、とてもすがすがしい。前の6年生は、とても多くの伝統を残していきました、私も
伝統を残したいです。
- 2 この学校の誇らしいところを作れるように、生活しようと思いました。自分たちの合唱に誇りをもって、連音
で歌いたいと思いました。
- 3 学校によって誇りに思うことは、挨拶や校歌、お辞儀の仕方など、それぞれ違うんだなと思った。九小は、夢
ファームや和太鼓が誇りだから、みんなに自慢できるように、残りの間大切にしていきたいなと思った。
- 4 九小といえば、「挨拶」などなどだと思います。門の前に野尻先生がいるときは、自分から挨拶をすることを心
がけています。これからも、挨拶をしていくことを心がけようと思います。
- 5 九小の誇りは、和太鼓だと思う。理由は、和太鼓はいい響きがしてきれいだから。挨拶もすごいと思う。元気
に大きな声と目を見て挨拶をするところ。
- 6 中学校が40周年を迎えたとお話されたとき、九小の周年との差が大きいなと思った。人を優しく迎えたり、
笑顔で迎えてくれるのは、とてもいいことだと思います。笑顔で迎えれば、もっと知りたいなと思えるからいい
ことだと思います。九小でも優しく笑顔で人を迎えてあげたいなと思いました。
- 7 他の学校での礼儀や「笑顔とはきはきとした言葉を話している」と聞いたとき、九小はどうかのかな、と思い
ました。九小のみんなも朝の挨拶などやっていますが、これからも毎朝、挨拶を続けてできることを心がけたい
と思っています。
- 8 いろいろな中学校の誇りを聞いて、それぞれ違う誇りがあるということを知りました。この九小でも、夢ファ
ーム、挨拶、和太鼓以外にも、6年生としてたくさん誇りを増やしていきたいです。
- 9 夢ファームがそんなに続いているのはすごいのだなあと思いました。僕は、ずうっと夢ファームを続けたいです。
- 10 自分の学校に誇りに思えることがあるのは、とても良いことだと思う。九小にも挨拶を大事にする、夢ファ
ームがあることなど、誇りに思えることがある。
- 11 他の学校に負けない九小の誇りをもとうと思った。誇りをもつことは大切だと思った。九小の誇りは、明るさ
だと思った。九小の人はメダルや賞状なども、もらうことが多いので、それも誇りだと思った。